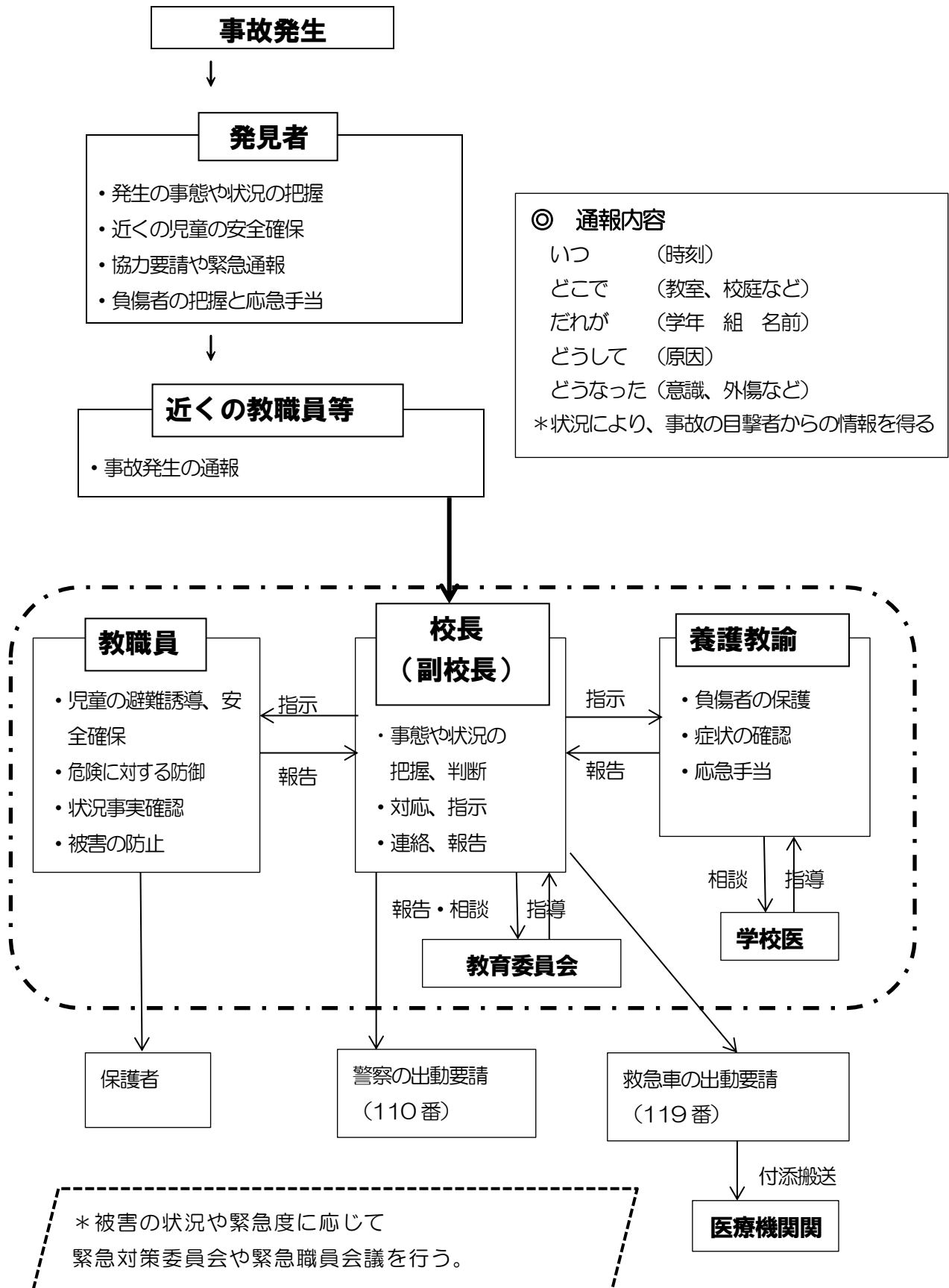


事故対応マニュアル

1. 事故現場での対応体制



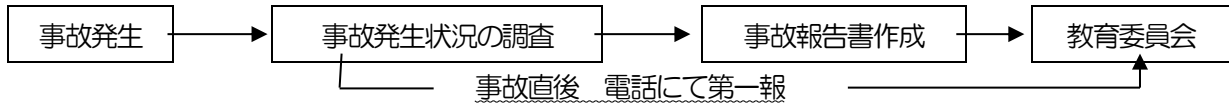
2. 事故発生時の係分担

係	担当	内容
総指揮	校長	<ul style="list-style-type: none">・事態や状況の把握、判断・副校長、教職員、養護教諭等への指示・防御、避難誘導の指示
通報連絡	副校長 教務主幹	<ul style="list-style-type: none">・救急車の出動要請・警察の出動要請・保護者への連絡・教育委員会への報告・報道機関の対応・記録
避難誘導	学級担任	<ul style="list-style-type: none">・避難場所への誘導・避難場所での安全確保
防 御	専科・担任	<ul style="list-style-type: none">・事故現場での二次被害の防止
救護活動	養護教諭	<ul style="list-style-type: none">・負傷者の保護・症状の確認・応急手当・健康状態の把握・心のケア

3. 事故発生後の報告と事後処理

(1) 教育委員会への報告

事故発生後できるだけ速やかに、教育委員会に報告する。



(2) 日本スポーツ振興センター申請手続き

- 重大な事故の場合は、指導計画・内容、当日の状況等の詳細な報告を求められる。記録は正確にとり長期にわたって保存する。

(3) 記録の管理

- 事故発生の状況や措置について、時系列で記録する。
- 記録は添付書類（指導計画、指導内容等）とともに長期保存をする。

(4) 他の児童への指導

- 他の児童が不安に陥ることのないよう配慮する。
- 事故の概要について可能な範囲で、できるだけ早く説明する(全校集会等)。
- 安全対策を再点検するなど再発防止について指導を行う。

(5) 対外折衝

- 無用の混乱を避けるために、窓口を一本に絞って管理職が行う。

(6) 保護者への説明

- 重大な事故の場合は、事実と異なった内容が流れ、不安や混乱を招く恐れもあるので、校長と教育委員会は連携を図りながら、必要と認めた場合に保護者への説明の場を設定する。連絡メールや配布物等で知らせる場合は連絡内容を簡潔にし、正確に伝わるようにする。

緊急通報マニュアル 救急車を要請する場合

◎ 「119」をダイヤルする。

• 「こちら消防庁。火事ですか、救急ですか。」

「救急車をお願いします。」

「江戸川区立北小岩小学校です。」

「住所は江戸川区2-15-1です。」

「電話番号は、03-3659-5351です。」

「けが人(病人)は 小学〇年生、男子、(けがの起きた状況)」

「症状、けがの状態は _____」

正門を開け、通りに出て、救急車が到着したら案内をする。